



第1回学校評価へのご協力ありがとうございました

晩秋から初冬へと、季節の変わっていく候となりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、9月末にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございます。保護者の皆様からの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。結果から、ぜひ一緒に考えたいという点について紹介させていただきます。多くの皆様のご意見を大切にし、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いします。

<確かな学力>

評価項目	児童(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、人の話を聞くこと	40.5	47.4	17.3	60.0
子どもが分かりやすい授業であること	50.2	41.9	27.4	60.4
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	36.3	37.7	12.7	51.8
子どもが、1か月に5冊以上本を読むこと	56.7	15.8	15.7	23.9
子どもが、毎日決めた時間に家庭学習に取り組むこと	35.8	32.6	14.7	47.7

◆考察と改善策

- 「人の話を聞くこと」について…子ども達は聞いているつもりでも、集中して聞いていないために聞きもらしていることがあります。聞く姿勢や、話を聞こうとするクラスの雰囲気作りを大切にして指導していかなければなりません。
- 「分かりやすい授業」については、算数科の校内研究を中心に、見やすいノート整理をしたり、自分で考えた後にクラスで考えを交流したりすることが、分かりやすい授業につながっていると考えられます。今後も、子ども達が「分かった。」「できた。」という成就感や達成感をもって学習できるよう、授業改善を続けていきます。
- 「自分の思いや考えを書いたり話したりすること」について…正しいことを話さないといけないと思ってなかなか発表できない児童もいます。それでも、指名されたり順番が回ってきたりすると発表できています。話す前に自分の考えをノートにまとめたり、ペアやグループなどの小グループで説明をしたり、リレー発表をしたりして、発表することへの抵抗を減らしていきたいと思います。
- 「1か月に5冊以上本を読む」について…朝読書は定着していますが、設定された時間以外に自分から本を読む習慣がまだついていない児童が多いです。読聞かせをしたり、調べ学習で図書館を利用したりするなど、学年に応じた取組を継続していくことで、本に興味をもつ子を増やしていきたいと思います。図書委員会や学校司書、図書ボランティアの方の取組も、子ども達はとても楽しみにしています。
- 「家庭学習」について…部活動や習い事等によって家庭学習ができる時間が個々違います。決められた時間ではなく、自分で計画を立てて自主的に学習に向かう力をつけていく必要があります。6年生は、週の初めにまとめて提示された1週間分の家庭学習の課題を、自分で予定を立てて提出するという取組をし、定着してきているようです。また、読書習慣とも関連しますが、テレビやP C等の視聴時間なども振り返っていただき、おうちでの過ごし方について、ご家庭でも子ども達と話し合っていただければと思います。ご協力をよろしくお願いします。

<豊かな心>

評価項目	子ども(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、進んであいさつすること	69.3	26.5	25.9	53.3
子どもが、自分も友達も大切にすること	68.8	26.1	31.5	61.9
子どもが、学校で楽しく過ごすこと	72.6	21.0	49.2	41.6
子どもが、きまりや約束を守ること	50.7	40.9	21.3	59.4

◆考察と改善策

- 「進んであいさつすること」について…学校では児童会を中心とした「あいさつ運動」を登校時に実施していますが、英語であいさつをしたり、一人一人の名前を読んであいさつをしたりするなど、子ども達のアイデアで工夫をしています。ただ、正門ではあいさつができても、他の場所で自分からあいさつをしたり、来客にあいさつをしたりすることは、まだ十分にはできていません。幼いころからの習慣が大切かと思います。教室でも、気持ちのよいあいさつが大切なことを、折に触れて指導しています。
- 「一人一人大切にされること」「学校で楽しく過ごすこと」について…たくさんの子ども達が、友達と楽しく過ごせています。しかし、わずか

であってもそうではないと考えている子がいます。困っていることや心配なことがないか、子ども達の様子をよく見て、話をしっかりと受けとめ、今後も一人一人が大切にされる学級づくり・学校づくりを目指します。

・「きまりや約束を守ること」については、守ることの大切さや必要性を、学年の発達段階に応じて指導してきました。3時間目や掃除時間の始まりの5分前行動は、全学年の児童がしっかりと守っています。しかし、遊びや目の前に夢中になると、周りのことが見えにくくなり、守りきれなくなることがあります。これだけはというきまりを、きちんと守りきらせる指導をしていく必要があります。

＜健やかな体・学校独自の取組＞

評価項目	子ども(%)		保護者(%)	
	よく出来ている	大体出来ている	よく出来ている	大体出来ている
子どもが、毎日朝食を食べること	86.5	6.5	63.3	30.1
子どもが、早寝・早起きをすること	34.0	34.0	26.9	42.1
子どもが、安全に気をつけて登下校すること	78.1	19.5	49.2	43.2
子どもが、危ない遊びをしないこと	79.5	16.3	41.6	49.8
学校が、保護者や地域の方々と力を合わせ、子どもの安全を見守ること			53.3	39.6

◆考察と改善策

- ・「朝食」について…毎日食べて登校している児童が多いです。しかし、夏休み明けの生活調べでは、「パンと牛乳」「おにぎりとお茶」といった朝食も多かったようです。午前中の学習や活動で十分に力を発揮することができるよう、おかずも食べてくるよう指導しています。そのためには、早起きも大切です。
- ・「早寝・早起き」について…睡眠時間が足りないと、授業に集中できなかったり、しんどくなったりします。しんどいと言って保健室に来て、ぐっすりと寝ている子もいます。睡眠時間をしっかりとり、朝食をきちんと食べて8時半までに登校するには、遅くとも夜10時までには寝て、7時には起きてほしいと思います。学校でも指導しますが、ご家庭の協力が大切です。学習や活動にしっかりと取り組めるよう、また身体の発育・発達の観点からも、早寝・早起きの習慣が身につきますようご協力お願いします。
- ・「危ない遊びをしないこと」について…校内には、遊んでもよい場所と、危ないので遊んではいけない場所がありますが、遊んではいけない場所での怪我も多くあります。廊下や階段で走り回るとどうなるのか、総合遊具でおいかげっこをするとどうなるのかということを考えられるようになってほしいと思います。

自由記述欄に寄せられたご意見から (内容をご紹介します)

◆学習・生活について

- ・(6年は)家庭学習が1週間単位で出されている。初めはとまどっていたが、今は自分で計画を立てて提出できるようになった。中学に向け、自分で計画し実行するという力にもなるので良いと思う。
＊宿題がないと勉強しないというのではなく、自主的に学習する力につけることが大切だと考えています。そのためには、興味をもつて学習をしたり調べたりできるような働きかけが大切です。今後も、学年の発達段階に応じた取組をしていきます。
- ・自分の子ども時代、読書好きでたくさん本を読んでいたが、大人になってからでも本を読む機会はあるので、読書をしている時間に友達と遊べばよかったと思う。「読書の時間」があるのならいいが、1か月に何冊読むと思いすぎなくともよいのではないか。
＊全校で「朝読書」として毎朝10分間の帯時間を設定しています。1回の時間は短いのですが、4月から11月までで、約30時間の読書時間になっています。前日のさようならの前に朝読書の本を机の上に置いて帰ったり、読みかけの本を入れておくバッグを机にかけたりしているクラスもあります。その他、テストやプリントが早くできた時や、給食を待っている間に本を読んでいる子もいます。高学年になると、社会科や総合的な学習の調べ学習で図書館へ行く機会もふえます。読書は本の数より内容が大事かとも思いますが、本に向かう一つのきっかけにもなり、自分がどれだけ読んでいるかの目安にもなるかと思い数値を入れました。学校として、年間100冊読書にも取り組んでいます。ただ、高学年になるとページ数の多い本を読んでいるので、冊数だけでは判断できない部分もあり、検討が必要かと考えています。
- ・高学年になってくると、あまり学校での出来事を言わなくなってきたが、運動会で色々な役目をこなしたりしているのを見ると、学校でも頑張っているのだなと感心した。
- ・高学年になるにつれ、本人からも授業の様子を聞くことがなくなってくるので、どんな様子でいるか伝わって来にくい。地域の様子は、まったく入って来ない。
＊高学年になってくると、親とゆっくり話すということが減ってきます。成長段階の中で、親から離れていく。授業参観や各種行事の時に学校へお越しいただいて、お子さんの様子を見守っていただければと思います。友達と協力したり、黙々と一人で取組んだりする姿を見せていただけることと思います。そして、「運動会の係活動、頑張っていたね。」など、声かけをしてあげてください。

地域の方が計画してくださいの行事もたくさんありますので、ご都合のつかれる時に足を運んでいただき、子ども達や地域の方の様子を見せていただくことがよいのではないかと考えます。よろしくお願いします。

- ・子どものために親や学校が気にかけてやることはすごく大切だが、それと同じくらい自ら経験し失敗し、壁にぶつかることも大切だと思う。その意味で、危ない遊びなど、大人がダメということからはみ出ることも必要だと思う。子どもがもっと大らかに、失敗も許せる社会であってほしい。

*学校でも、同じことを考えて取り組んでいます。教えてもらうことも大事ですが、やはり、失敗も含めて自分で経験することが大切だと考えます。小さな怪我をしながらもナイフを使って工作をしたり、高い所に登ったりすることで、力がつき、自信がついてきます。しかし、何度も注意をしても廊下を走り回って鬼ごっこをしたり、狭い教室で長い棒を振り回したりするのは、大怪我をする危険があります。安全上守るべききまりを守りながら、色々な経験をしていってほしいと思います。

- ・授業につまずいた場合、放課後などでフォローしていただけると助かります。

- ・病気などで欠席した日の授業の内容については、どのようにとりもどしてもらっているのでしょうか。

*授業中に理解しきれなかった内容や、欠席した日の学習については、放課後や休み時間にできるだけ個別に見てフォローをするようしています。時には、職員室で担任以外の教員が見ていることもあります。ただ、低学年は比較的時間にゆとりがあるのですが、高学年になると6時間授業になり、部活動や委員会活動、習い事などもあって、なかなか時間がとれないのも事実です。1時間の授業のポイントを押さえたり、基本になる部分の練習をしたりして、短い時間でも学習できるように工夫をしています。

- ・最近、親のケータイを使って子どもがLINEをしている。LINEはトラブルになりやすいので、やる時間や内容など、しっかり注意していきたいと思う。既読機能などが原因でのトラブルもよく聞きます。今から一人一人の親が、しっかり自分の子にルールを教えていかなければと思う。学校でも言ってもらえたなら助かる。

*毎年、件数は少ないですがケータイやスマホに関するトラブルがあります。全市的にも大きな問題になっています。今の時代、ケータイやスマホを持たないで過ごすということは難しいです。安全な使い方、便利な使い方をしっかり指導していく必要があります。学校では、学級指導の時間にインターネットやSNSについての指導を行っています。また、外部講師によるケータイ教室も実施しています。ご家庭でも、ケータイやスマホの使い方についてしっかりとお話しいいただきたいたいと思います。よろしくお願ひします。

◆学校の取組について

- ・あいさつ運動のおかげで、地域の知らない方とも自分からあいさつをするようになってきた。
- ・用事があって学校へ行った時に、すれ違う児童が、元気に目を見て「おはようございます。」「こんにちは。」と、あいさつしてくれた。あいさつが習慣になるとよい。
- ・朝の見守りをしているが、子ども達から率先してあいさつをしてくることは少ない。自分の子どもも含めて、こちらからあいさつをすればほぼ全員が返してくれるだけに、残念に思う。朝のあいさつうんどうもしているようだが、立っている人（迎える側）が先にするというような思い込みがあるのだろうか。

*なかなか全校にあいさつをする習慣が定着しないのですが、それでも少しづつあいさつができる子が増えてきています。まだ、自分からできない、お客様など初めて出会った人には声をかけられないという子もいます。声の小さい子もいます。あいさつしてくれた子には、「ありがとう、気持ちいいあいさつやね。」など、声をかけてあげてください。あいさつをすることは気持ちのいいことだ、あいさつをすることでコミュニケーションが円滑になるということが理解できるよう、学校でも指導を続けています。

- ・以前の様に、運動会を日曜日になると、保護者がもう少し来やすいのではないか。

- ・月曜日は仕事が休みないので参観日に来られない。他の曜日に変えてもらえるとありがたい。

*子ども達のことを考えると、休日の土曜日をはさんで運動会をするよりも、金曜日の続きを実施をする方が安全です。また、金曜日に準備をして土曜日をはさむより、続けて運動会をする方が、準備都合や地域の方の運動場の使い方にもよいかと思われます。土曜日が休日ではない方もおられるとは思いますが、ご理解いただきますようお願ひいたします。

また、参観日については、他の行事との関係でうまくいかない場合も有るのですが、1年間を通してできるだけ曜日が重ならないように組んでいます。ご理解をお願いします。

- ・学校からの連絡を、連絡網ではなく、メール配信で統一してはどうか。

- ・学校での取組や活動は、全体の保護者の半数も伝わってないのではないかと感じる。役員をしていた時は役員会などで情報を共有できるが、そうでない時は情報共有はプリントがほとんどで、中には読まない人もいると思う。

- ・ホームページやおたよりで、学校の取組や様子がよくわかります。

*メール配信については、春にPTA本部から各家庭に案内を出していただいている。また、連絡網についても、PTAのクラス事業部の方が作ってくださっています。全員の方が登録されているのではありません。学校からのお知らせやご案内は、子ども達を通じて、プリントでさせていただいている。ほとんどが家庭数ですので、兄弟姉妹のおられる家庭は下の学年でお配りします。子ども達が持ち返りましたら、必ずお目通しください。プリントをもらったことを忘れている子もいるかもしれません。「今日は学校からのおたよりは無い？」と、時々お声かけいただけたらありがたいです。

また、ホームページにもできるだけ更新して、子ども達や学校、地域の様子をお伝えしています。こちらもご覧ください。

◆PTA・地域について

- ・共働きの家庭が多いので、PTA活動の見直しをしてほしい。

- ・PTA役員、専門部の負担の軽減を図ると、参加しやすくなるのではないか。

- ・PTAが、親にとってかなりの負担になっている。昔のやり方のまま現在に継続しているのは、疑問を感じる。

- ・PTAの活動は負担が大きく、働きながら活動するのは本当に大変だった。

* P T Aの活動については、以前からご指摘をいただいている。すぐに解決策が見つかりませんが、P T A会員の方と学校とで話し合い、よりよい方向に向かえるよう検討をしていかねばならないと思っています。保護者の皆様からも、ぜひアイデアをいただきたいと思います。よろしくお願いします。

・児童の減少、柏野校との統合へと動きがあるこれから先、秋のふれあいまつりの廃止の検討を。学校・地域・P T Aと、毎年相当数の人が従事しないといけないのが大変な割に、果たして楽しんでいるのは子どもだけか疑問である。

*ふれあいまつり開催に当たっては、確かに相当数の人が動いてくださっています。そんな中、今年も実施していただきました。毎年作品を展示して皆さんに見ていただくを楽しみにしておられる方、地域の子ども達の様子を見て喜んでおられる方、久しぶりにお友達とお会っておしゃべりを楽しんでおられる方など、子どもだけでなく、大人の方も楽しんでくださっていたと思います。反面、準備や後片付けなどで、たくさんのご負担もかかっています。ふれあいまつりは地域の行事ですので、地域の皆様にご意見をお伝えして検討をしていかねばなりません。

◆学校評価について

- ・どの項目も、重要だと感じています。実現度も同じになるように、家庭でも意識をしていきたいです。
- ・いつものことだが、このアンケートの必要性が分からぬ。

*アンケートにお答えいただくことで、本校の教育について見直すことができます。よいことは続けていけるよう、不十分な点は改善するよう、毎年地域の方のご意見も伺ながら、教職員で話し合っています。すぐに結果がでることではないですが、目標をしっかりと持って取り組んでいきたいと思っています。



【学校運営協議会委員の皆様からのご意見】

- ・家庭学習のめやすの時間が、学年ごとにあると分かりやすいのではないか。ただ、学習は長さだけが大切ではなく、内容が大切なのと、宿題の量や内容も考えていく必要がある。
- ・勉強も大事だが、勉強以外のこと多く経験してほしい。将来、どの様な人になっていくのかを考えるのが大切
- ・あいさつについては、なかなか自分からしない。自分からあいさつができる子になってほしい。
- ・LINEなどのSNSに関するトラブルがあるということだが、保護者は、子ども達がしていることを把握してほしい。フィルタリングをかけても、子どもはすぐにはずすことができる。既読やグループに関する問題も言われるが、与えるからには、親がケータイの持たせ方を考えて正しい使い方を指導し、きちんと把握する必要がある。ケータイやLINEが悪いのではなく、使い方の問題である。
- ・引渡訓練に参加したが、時間がかかっていたので、実際に地震が起きた時に今のやり方で対応できるか心配。引渡しの簡素化を検討する必要があるのではないか。
- ・不審者対応訓練については、児童のトラウマになるからと不審者役に会わせないことが多いが、それで実際に事件があった時に対応できるのかと思う。対応できるような訓練をしていく必要があるのではないか。
- ・不審者情報があった時には、見守り隊や地域に連絡をして支援を依頼してほしい。
- ・ふれあい清掃の、保護者の参加がなかなか増えない。毎回でなくてもよい、年に1回くらいでよいので参加できる様、学校やP T Aからも継続して呼びかけてほしい。学校がきれいになるのは、子どものためになる。